

平成19年8月3日

各 位

会社名 明治製菓株式会社
代表者名 代表取締役 社長 佐藤尚忠
(コード番号 2202 東証1部)
問合せ先 お客様コミュニケーション部長
梅本 隆司
(TEL 03-3273-3355)

(訂正)平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況の一部訂正について

平成18年8月3日14時に発表いたしました、表記開示資料について一部訂正がありましたので、お知らせいたします。なお、平成20年3月期第1四半期財務・業績の概況につきましては、訂正はありません。

記

サマリー情報 (訂正箇所は下線を付しております。)

(訂正前)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
19年3月期第1四半期	334,054	160,771	47.2	<u>421.69</u>
18年3月期第1四半期	324,871	144,394	44.4	376.66
(参考)18年3月期	348,281	157,761	45.3	413.53

(訂正後)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %	1株当たり純資産 円 銭
19年3月期第1四半期	334,054	160,771	47.2	<u>413.15</u>
18年3月期第1四半期	324,871	144,394	44.4	376.66
(参考)18年3月期	348,281	157,761	45.3	413.53

以上



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月3日

上場会社名 **明治製菓株式会社** 上場取引所 東証第1部
 コード番号 2202 本社所在都道府県 東京都
 (URL <http://www.meiji.co.jp>)
 代表者 代表取締役 社長 佐藤 尚 忠
 問合せ先責任者 お客様コミュニケーション部長 梅本 隆 司 TEL (03) 3273 - 3355

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (詳細は添付資料)
 (内容) 法人税等の計上基準
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (詳細は添付資料)

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	88,003	2.2	1,425	2.1	2,196	37.7	1,478	112.8
18年3月期第1四半期	86,141	6.4	1,396	569.2	1,594	184.3	695	—
(参考)18年3月期	382,429		16,460		16,160		8,678	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	3.88	—
18年3月期第1四半期	1.81	—
(参考)18年3月期	22.41	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	334,054	160,771	47.2	421.69
18年3月期第1四半期	324,871	144,394	44.4	376.66
(参考)18年3月期	348,281	157,761	45.3	413.53

(注)平成18年3月期第1四半期および平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」、「株主資本比率」および「1株当たり株主資本」を、「純資産」、「自己資本比率」および「1株当たり純資産」の欄にそれぞれ記載しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△ 1,398	△ 4,297	△ 2,373	10,653
18年3月期第1四半期	△ 4,459	△ 5,767	△ 1,061	11,379
(参考)18年3月期	19,513	△ 18,822	△ 4,687	18,755

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	182,000	2,000	500
通期	395,000	12,000	5,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 13円11銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成18年5月16日発表の数値を修正しておりません。

※上記の予想は、現時点における事業環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

第1四半期連結業績概況

経営成績

当第1四半期の売上高は880億3百万円（前第1四半期比2.2%増）となりました。利益につきましては、営業利益は14億25百万円（同2.1%増）、経常利益は21億96百万円（同37.7%増）、純利益は14億78百万円（同112.8%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりであります。

●フード&ヘルスケア事業

【菓子事業】

チョコレートは、高カカオ分チョコレートブームの影響もあり新たに追加した板タイプ「チョコレート効果」が好調に推移し、更に幅広く大人向け市場を開拓することができました。ガムは、新商品「キシリッシュプラスF」の発売もあり、全体としては順調に推移しました。キャンデーは、「果汁グミ」を始め、昨年発売の「ぷぷるん」も新味投入が奏効し、大幅に伸長しました。スナックは、「プリングルズ」の好調により、前第1四半期並みの売上を確保しました。この結果、菓子全体では順調に推移しました。

【健康事業】

健康事業全体では、「アミノコラーゲン」が新商品の発売と積極的な販促活動により大幅に伸長する等、前第1四半期を上回る売上で推移しました。

なお、ココアは、アイスココアの増売等により堅調に推移しましたが、レトルトカレー、一般用医薬品「イソジン」は、減売となりました。

【海外事業】

輸出は、主要市場であるアジア各国及び米国を中心に伸長しました。輸入は、積極的な販促活動を行った結果、日本での高カカオ分チョコレートブーム等の影響もあり、順調に推移しました。

【業務用食材事業】

技術力を活かしたチョコレート・ココア関連商品の開発や、メーカー等への缶詰・果実の販売増、コンビニエンスストア向けの弁当商材の導入により好調に推移し、増売となりました。

【連結子会社】

国内連結子会社では、株式会社明治フードマテリアは、主力の砂糖の価格が上昇したことにより増売となりました。明治チューインガム株式会社は「キシリッシュ」の新商品により、また、岡山県食品株式会社は「アミノコラーゲン」など健康食品の伸長により、それぞれ好調に推移しました。

海外連結子会社では、シンガポールのファイブスターズ・デイリー・イングリディエント社の稼働開始により粉乳調製品の販売が伸長しました。米国のスタウファー・ビスケット社は、積極的な販路拡大により順調に推移しました。

以上により、フード&ヘルスケア事業の売上高は 639 億 27 百万円(前第 1 四半期比 8.3%増)、営業利益は 8 億 66 百万円(同 186.8%増)となりました。

●薬品事業

【医療用医薬品事業】

引き続き厳しい事業環境下、着実な学術普及活動と積極的な営業活動を展開しましたが、薬価改定の影響を受け苦戦を強いられました。主力の抗うつ薬「デプロメール」は前第 1 四半期並みの売上を確保しましたが、他の主力製品である抗菌薬「メイアクト」、「オメガシン」、「スオード」及び抗不安薬「メイラックス」は減売となりました。

【農薬・動物薬事業】

農薬・動物薬の市場においては、企業間競争の激化に加え、ポジティブリスト制の導入など規制・行政指導も一段と強化され、厳しい事業環境となりました。農薬は、主力の「オリゼメート」が順調に推移し、ほぼ前第 1 四半期並みの売上を確保しましたが、動物薬は減売となりました。

【海外事業】

主力の「メイアクト」、飼料添加物「コリスチン」は減売となりましたが、「ドキシソルビシン」、「メイセリン」等が積極的な営業活動により好調に推移し、ほぼ前第 1 四半期並みの輸出売上を確保しました。

【連結子会社】

国内連結子会社では、北里薬品産業株式会社は、三種混合ワクチン等は増売となりましたが、昨年 7 月の予防接種法改正の影響により全体としては減売となりました。

海外連結子会社では、東南アジアの P.T. メイジ・インドネシア社及びタイ・メイジ社は、積極的な販促活動により、「メイアクト」、「コリスチン」を中心に好調に推移しました。また、スペインのテデック・メイジ・ファルマ社は、輸出は低迷しましたが、現地向け販売が好調に推移し、前第 1 四半期並みの売上を確保しました。

以上により、薬品事業の売上高は 233 億 55 百万円（前第 1 四半期比 11.9%減）、営業利益は 69 百万円（同 91.7%減）となりました。

●ビル賃貸事業他

首都圏における大規模ビルの需給環境は改善傾向にあり、主力のオフィスビル「ソリッドスクエア」は、新規テナントの積極的誘致で高い入居率を維持し、引き続き好調に推移しました。

この結果、ビル賃貸事業他としての収入は 7 億 20 百万円（前第 1 四半期比 15.4%増）、営業利益は 1 億 18 百万円（同 551.2%増）となりました。

財政状態

当第1四半期末の総資産は、季節性による売掛債権等の減少により、前連結会計年度末に比べ142億27百万円減少し、3,340億54百万円となりました。負債は、法人税等の支払等により、前連結会計年度末に比べ143億40百万円減少し、1,732億82百万円となりました。少数株主持分を含めた純資産は、ほぼ前連結会計年度末と同水準の1,607億71百万円であり、自己資本比率は47.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、年金資産への特別掛金27億円の拠出および賞与の支払等を行ったことにより、△13億98百万円となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出28億84百万円や中国関係会社への出資により、△42億97百万円となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、創立90周年記念を含む配当金の支払等により、△23億73百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ81億2百万円減少し、106億53百万円となりました。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)		増 減 金 額	前第1四半期 (平成17年6月30日現在)	
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)		金 額	構成比率(%)
資 産 の 部							
I 流 動 資 産							
現金及び預金	10,810		18,980		△ 8,170	11,532	
受取手形及び売掛金	67,756		78,519		△ 10,763	68,717	
たな卸資産	47,580		43,752		3,828	46,521	
その他	11,106		12,041		△ 935	17,618	
流動資産合計	137,253	41.1	153,293	44.0	△ 16,040	144,390	44.4
II 固 定 資 産							
有形固定資産	136,870		136,764		106	140,039	
無形固定資産	6,279		6,271		8	5,146	
投資その他の資産	53,651		51,951		1,700	35,294	
固定資産合計	196,800	58.9	194,988	56.0	1,812	180,480	55.6
資 産 合 計	334,054	100.0	348,281	100.0	△ 14,227	324,871	100.0
負 債 の 部							
I 流 動 負 債							
支払手形及び買掛金	27,304		27,164		140	26,160	
短期借入金	21,772		23,511		△ 1,739	17,163	
コマーシャルペーパー	2,000		-		2,000	-	
未払費用	10,995		12,654		△ 1,659	11,206	
その他	13,833		23,646		△ 9,813	19,478	
流動負債合計	75,906	22.7	86,976	25.0	△ 11,070	74,009	22.8
II 固 定 負 債							
社 債	40,000		40,000		-	40,000	
長期借入金	17,143		17,485		△ 342	24,718	
退職給付引当金	21,505		24,765		△ 3,260	24,867	
その他	18,727		18,395		332	14,232	
固定負債合計	97,376	29.2	100,645	28.9	△ 3,269	103,818	32.0
負 債 合 計	173,282	51.9	187,622	53.9	△ 14,340	177,827	54.8
少 数 株 主 持 分							
少数株主持分	-	-	2,897	0.8	△ 2,897	2,649	0.8
資 本 の 部							
I 資 本 金	-	-	28,363	8.1	△ 28,363	28,363	8.7
II 資 本 剰 余 金	-	-	34,948	10.0	△ 34,948	34,946	10.8
III 利 益 剰 余 金	-	-	79,595	22.9	△ 79,595	72,955	22.4
IV その他有価証券評価差額金	-	-	17,730	5.1	△ 17,730	10,471	3.2
V 為替換算調整勘定	-	-	△ 642	△ 0.2	642	△ 1,360	△ 0.4
VI 自 己 株 式	-	-	△ 2,233	△ 0.6	2,233	△ 982	△ 0.3
資 本 合 計	-	-	157,761	45.3	△ 157,761	144,394	44.4
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	348,281	100.0	△ 348,281	324,871	100.0
純 資 産 の 部							
I 株 主 資 本							
資 本 金	28,363	8.5	-	-	28,363	-	-
資 本 剰 余 金	34,948	10.5	-	-	34,948	-	-
利 益 剰 余 金	78,506	23.5	-	-	78,506	-	-
自 己 株 式	△ 2,241	△ 0.7	-	-	△ 2,241	-	-
株 主 資 本 合 計	139,577	41.8	-	-	139,577	-	-
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等							
その他有価証券評価差額金	18,182	5.4	-	-	18,182	-	-
繰延ヘッジ損益	244	0.1	-	-	244	-	-
為替換算調整勘定	△ 488	△ 0.1	-	-	△ 488	-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	17,937	5.4	-	-	17,937	-	-
III 少 数 株 主 持 分	3,255	0.9	-	-	3,255	-	-
純 資 産 合 計	160,771	48.1	-	-	160,771	-	-
負 債 純 資 産 合 計	334,054	100.0	-	-	334,054	-	-

2. (要約) 四半期比較連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第1四半期 〔自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日〕		前第1四半期 〔自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日〕		前連結会計年度 〔自 平成17年4月 1日 至 平成18年3月31日〕	
	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)	金 額	百分比(%)
I 売 上 高	88,003	100.0	86,141	100.0	382,429	100.0
II 売 上 原 価	50,089	56.9	48,996	56.9	213,099	55.7
売 上 総 利 益	37,914	43.1	37,144	43.1	169,330	44.3
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	36,488	41.5	35,748	41.5	152,869	40.0
営 業 利 益	1,425	1.6	1,396	1.6	16,460	4.3
IV 営 業 外 収 益						
受取利息及び受取配当金	688		325		507	
雑 収 入	416		306		1,501	
持分法による投資利益	10		7		131	
営 業 外 収 益 合 計	1,115	1.3	639	0.8	2,141	0.5
V 営 業 外 費 用						
支 払 利 息	304		328		1,283	
雑 損 失	41		113		1,157	
営 業 外 費 用 合 計	345	0.4	441	0.5	2,441	0.6
経 常 利 益	2,196	2.5	1,594	1.9	16,160	4.2
VI 特 別 利 益	135	0.1	5	0.0	1,570	0.4
VII 特 別 損 失	18	0.0	1	0.0	1,309	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,313	2.6	1,599	1.9	16,422	4.3
法 人 税 等	738	0.8	799	1.0	7,168	1.8
少 数 株 主 利 益	96	0.1	104	0.1	575	0.2
四 半 期 (当 期) 純 利 益	1,478	1.7	695	0.8	8,678	2.3

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		
	当第1四半期	前第1四半期	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,313	1,599	16,422
減価償却費	3,563	3,486	14,976
退職給付引当金の増減額(減少：△)	△ 3,270	△ 7,662	△ 7,664
受取利息及び受取配当金	△ 688	△ 325	△ 507
支払利息	304	328	1,283
売上債権の増減額(増加：△)	10,860	7,691	△ 2,204
たな卸資産の増減額(増加：△)	△ 3,740	△ 1,562	1,170
仕入債務の増減額(減少：△)	△ 1,657	△ 866	1,547
その他の	△ 6,398	△ 4,450	△ 344
小 計	1,287	△ 1,762	24,678
利息及び配当金の受取額	822	460	640
利息の支払額	△ 229	△ 226	△ 1,278
法人税等の支払額	△ 3,278	△ 2,930	△ 4,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,398	△ 4,459	19,513
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産取得による支出	△ 2,884	△ 5,357	△ 15,000
有形固定資産売却による収入	184	34	1,623
投資有価証券取得による支出	△ 67	△ 955	△ 3,262
投資有価証券売却による収入	28	500	1,374
その他の	△ 1,558	10	△ 3,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,297	△ 5,767	△ 18,822
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金・コマーシャルペーパーの増減額(純額)	△ 118	334	△ 558
少数株主の増資引受による収入	287	-	-
自己株式の取得・売却による支出(純額)	△ 7	△ 3	△ 1,253
連結子会社による当該連結子会社株式取得による支出	-	-	△ 97
配当金の支払額	△ 2,478	△ 1,341	△ 2,683
少数株主への配当金の支払額	△ 56	△ 51	△ 94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,373	△ 1,061	△ 4,687
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 35	21	105
V. 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 8,104	△ 11,266	△ 3,890
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	18,755	22,646	22,646
VII. 新規連結による現金及び現金同等物増加額	2	-	-
VIII. 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	10,653	11,379	18,755

四半期財務情報の作成等に係る事項

○会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準・・・ 子会社においては法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

○連結及び持分法の適用範囲の異動

連結子会社・・・ (新規) 2社:Cecilia Confectionery Pte.Ltd.
Five Stars Dairy Ingredients Pte.Ltd.

4. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成18年4月1日至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	セグメント フード&ヘルスケア 事業	薬品 事業	ビル賃貸 事業他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	63,927	23,355	720	88,003	—	88,003
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	231	31	351	(351)	—
計	64,015	23,587	752	88,354	(351)	88,003
営業費用	63,148	23,517	633	87,300	(722)	86,577
営業利益	866	69	118	1,054	371	1,425

前第1四半期（自平成17年4月1日至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	セグメント フード&ヘルスケア 事業	薬品 事業	ビル賃貸 事業他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	59,002	26,514	624	86,141	—	86,141
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	124	364	27	517	(517)	—
計	59,127	26,879	652	86,659	(517)	86,141
営業費用	58,825	26,041	633	85,500	(755)	84,745
営業利益	302	837	18	1,158	238	1,396

前連結会計年度（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

科 目	セグメント フード&ヘルスケア 事業	薬品 事業	ビル賃貸 事業他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	264,410	115,388	2,630	382,429	—	382,429
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	416	1,756	110	2,283	(2,283)	—
計	264,826	117,145	2,740	384,712	(2,283)	382,429
営業費用	254,983	110,538	2,583	368,104	(2,136)	365,968
営業利益	9,843	6,606	157	16,607	(146)	16,460